

県高校ハンド

ハンドボールの第46回県高校選手権は24日、八重瀬町の東風平公園体育館で男女の決勝戦を行い、男子は興南が5年連続27度目、女子是那覇西

男子興南V5

が3年連続6度目の優勝を飾った。男子の興南は、序盤から優位に展開し得点を重ねて那覇西を引き離し、32-20と圧勝した。女子・那覇西は、出だしてもたつき陽明に先行されたが、前半9分すぎからは、常にリードを保ち、29-22で快勝した。

▽男子決勝	興南	16	16	8	20	那覇西
▽女子決勝	那覇西	15	14	10	22	陽明



主力欠いても圧勝

男子決勝・興南-那覇西 攻守の中心となり、優勝に貢献した興南の福田浩大(八重瀬町・東風平公園体育館)の仲間の撮影

興南は、3年生に交じって夏の全国高校総体も出場した松原優人と具志堅陽向主将の主力2人を、大会前のけがで欠きながら、圧倒的強さで優勝をつかんだ。黒島宣昭監督は「ミスはいろいろあったが、良くなってきている。ミスした分を取り返すつもりで、いけばいい」と、新チームの船出を評価した。具志堅主将にかわってチームを引っ張った福田浩大は、本来のポストでなく、センターに回った。慣れないポジションで、前半は「熱くなりすぎて周囲が見えなかった」と反省したが、後半は冷静さを心がけ「周りを生かすことができた」とホッとしたようす。

ポイント

最多10得点を挙げた比嘉成希も「本来のフロター3人のうちの2人がいなくて、なかなか合わなかった」と、苦心した様子だが「1対1は強く狙っていた」と踏ん張った。

(安里真己)



女子決勝・那覇西-陽明 後半、シュートを決める那覇西の由浅日香里

女子那覇西 逆転3連覇

快勝で3連覇を飾った女子那覇西。緊張から出だしは陽明にリードを許したが、9分には逆転、徐々に点差を広げた。陽明が追い上げ

ポイント

る場面も何度かあったが、由浅日香里主将を中心に「次がある」と気持ちを切り替え、積極的に攻めて、振り切った。

国体の県代表は、同校単独

陽明振り切る

での出場、練習のメーンはまだ3年生。新チームとして練習は少ない。その中で勝ちに下地保監督は「よく頑張った」と選手をほめた。前日の試合で右ひざをけがし、万全の状態ではなかった由浅主将は「試合では声も出て、今の力は出し切れた。連覇できて良かった」と笑顔を見せた。

ディフェンスやセットオフエンスの強化など課題はあるが「全国制覇が目標」。由浅主将は力強く宣言した。

屋比久、最多9得点

U-16代表が日韓戦

ハンドボールの男子U-16日本代表に屋比久浩之(興南高1年)が選ばれ、比久は、スタメンで出場

10月29日から11月3日まで、韓国・ソウルに派遣される予定。

し、日本最多の9得点を挙げたが、試合は30-34で韓国に敗れた。